



## これが全国の営業職場の現実だ！ 安心して働ける職場の実現に向けて皆で議論しよう！

9月14日に開催されたJR東労組営業部会での全国の仲間からの発言を一部紹介します。会社は「現業機関における柔軟な働き方」のもと、施策を進めていますが、現場では、実態に即していない要員の削減や多能化により、多くの悲鳴があがっています。

私たちが働きやすい職場を創り出すために、今こそ議論できる東労組に結集しよう！

- **妊娠したにも関わらず要員不足のため、泊まり勤務を継続。営業統括センター長は知らなかった。翌月から配慮した7徹に変更。**

妊娠しているのに泊まり勤務！  
工作中、体調不良になったらどうするの？



- **運輸区から4ヶ月間だけ、駅の改札勤務に配置転換。4ヶ月経ったら交代し乗務員に戻る。駅ではずっと見習がいる状態。**



技術継承ができる状況ではない。  
乗務員へ戻ったら、仕事は忘れてしまう。「連携と融合」とは一体何なのか？



- **当日、家族の体調不良により年休を申し込んだが、「代務者がいない」との理由で年休を取れず。時季変更権も当初認めず**



私たちの職場は、本当にこんな状態でいいですか？  
職場現実を変えられるのはJR東労組だけ。今こそ結集しよう！